

技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

日時 平成24年11月20日
対象 千葉市立轟町中学校
3年A組 34名
授業者 迎 寿美
場所 被服室

1. 題材名

D 身近な消費生活と環境 (消費者の権利と責任)

2. 題材について

[題材観]

消費生活の学習は、生徒たちが無意識のうちに行っていることを意識づけさせることから始まると考える。中学生の身近な消費行動を振り返らせることにより、消費の重要性に気づき、消費者の基本的な権利と責任について理解をさせる。また、買い物(消費)が個人の満足感を満たすだけでなく、社会を良くしていくためにはどのように消費行動の意思決定をすればよいかを考える。

[指導観]

消費者は、物資やサービスを購入するとき、どのような消費行動が求められているのか、ロールプレイングを通して考えさせる。また、消費生活センターの方から直接アドバイスを受け、行動する力を身につけさせる。買い物をすること＝「消費者の選択」が社会を変えるはたらきをもつといえることに気づかせ、社会をつくる小さなきっかけとなることに考えを広げさせる。また、自分の意見を筋道立てて伝えること、自分の意思決定と友だちの考える観点とを意見交換する事を通して言語活動について深めていく。

[生徒観]

社会の一員として消費者の意識を高める力、意思決定できる力をつけさせ、このことが、社会をよりよくしていく小さなきっかけとなることに気づかせる。また、自分の意見を筋道を立てて伝えること、自分の意思決定と友だちの考える観点とを意見交換することを通してコミュニケーション能力をつけさせる。

3. 題材の目標

- (1) 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任を考えた消費行動の意思決定について考える。
- (2) 物資・サービスの適切な選択、購入について考え、これからの自分の消費行動を工夫する。

4. 題材の評価規準

評価の観点	評価規準
生活や技術への関心・意欲・態度	・自分や家族の消費生活について関心を持ち、消費のあり方を改善しようとしている。 ・身近な販売方法に関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。
生活を工夫し創造する能力	・収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。
生活の技能	・物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。
生活や技術についての知識・理解	・消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 ・中学生に関わりの深い販売方法の特徴について理解している。 ・物資・サービスの選択、購入及び活用に関する知識を身につけている。

5. 指導・評価計画（9時間扱い）

授業班作成の指導・評価計画。「身近な消費生活と環境」のうち、消費行動の意志決定に関する4時間を示す。

時間	学習内容	関	創	技	知	評価規準・評価方法
1	○家庭生活と消費	○		○		◇自分や家族の消費生活に関心をもつ。 （関）発表、意見交換 ◇買い物をするときの意思決定の流れを考える事ができる。（技）ノートの記述
1	○生活情報の活用と商品の価格			○	○	◇商品購入に必要な情報を分析しながら整理することができる。（技）ノートの記述 ◇商品の購入時に、情報の必要性を理解している。（知）ノートの記述
1	○消費者の権利と責任①	○			○	◇自分の消費生活について関心をもち、消費のあり方を改善しようとしている。 （関）評価カード ◇消費者の権利と責任がよりよい社会をつくることを理解している。（知）ノートの記述
1 本時	○消費者の権利と責任②	○	○			◇個人の行動が社会に行動できる消費者としての力を持つことに気づいている。 （関）意見交換の様子 ◇収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。（工）ノートの記述

6 本時の指導

(1) 内容 商品の選択、購入の意思決定について、ロールプレイングを行って考える

(2) 本時の目標

1. 消費者一人ひとりの行動が社会や環境のために行動できる消費者としての力をもっていることに気づく。（関心・意欲・態度）
2. 消費者として、物資やサービスの選択、購入及び活用について考え工夫する。（工夫）

(3) 本時の評価規準

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を 工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
お お む ね 満 足	・個人の行動が社会に行動できる消費者としての力を持つことに気づいている。	・物資・サービスの選択及び活用について考え、工夫しようとしている。		

(4) 本時の展開

学習過程	時配	生徒の活動	教師の指導と支援	資料・評価(方法)
課題をつかむ	3分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">消費者として社会を変える行動は、どうあるべきだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任について振り返る。 ・班ごとにロールプレイングを行い、社会への影響を考えた消費者の行動を考えていくことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者は権利で守られているが、同時に責任ある行動が求められている事を確認する。 ・消費者として、個人の利益だけでなく、広く社会の事まで考えた消費行動はどうあるべきか、ロールプレイングを通して考えていく事を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート
追求する	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者はロールプレイングを行う。 ・班ごとに役割を決め、4つの商品のロールプレイングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. Tシャツ 2. スニーカー 3. 携帯用音楽プレイヤー 4. ペットボトル飲料 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオの最後で、消費者としてどのような行動をとれば社会をよくしていけるのか、ノートに自分の考えをまとめる。 ・班で話し合い、どんな行動をしたらよいか黒板に示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2800円のフェアトレードのTシャツを買う。 2. お店に持って行って取り替えてもらう 3. 消費生活センターに電話して相談する。 4. 水筒を持っていく </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・始めに代表者が全体の前でロールプレイングを行い、グループごとのロールプレイングに気持ちをつなげさせる。 ・班で担当している商品からはじめ、時間のある限り、ロールプレイングをつづけさせる。 ・はじめに自分の考えをノートにまとめさせる。 ・班の活動がスムーズに進まない場合、助言する。 ・自分の行動は、個人の利益だけでなく社会を変えていく取り組みにつながることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングのシナリオ ・発表用の紙
深める	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・班で考えた消費者の行動と理由を発表する。 ・意見交換をする。 ・実際に消費生活センターに電話をかけてみる。 ・消費生活センターへの電話の仕方を実際に知り、どのように対処したらよいかを知る。 ・消費生活センターの方のアドバイスを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各班で考えた内容が、社会をより良くしていく行動なのか検討させる。 ・他に良い考えがあれば取り上げる。 ・意見が出ない場合、補足をする。 ・発表した行動は「消費者の責任」のどれにあたるのか簡単に確認する。 ・事例をもとに、消費生活センターの方と一緒に電話のやりとりを体験させ電話をかけるときに、どんな準備が必要なのか理解させる。 ・ロールプレイングの中に出てきた内容で、ポイントとなるものをいくつかアドバイスをする。 ・「団結し、連帯する責任」についての事例を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の行動が社会に行動できる消費者としての力を持つことに気づいている。(関心)
まとめる	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返りながら、今日の授業を通して考えたことをノートにまとめる。 ・発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">消費者が責任を果たすことで、社会を変えていく方法が考えられたか</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の声で改善された商品などを簡単に紹介する。 ・行動することは社会を変えていく力につながることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの選択及び活用について考え、工夫しようとしている。(工夫)

